

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

幼いころから音楽に親しみ、学んできたことを生かし、将来は様々な方法で音楽の魅力を伝えられるような人になりたいと思い同志社女子大学を志望しました。同志社女子大学では、ピアノや声楽の実技の力を高めつつ音楽文化の専門分野を学べることに加え、教育や音楽療法の分野で資格の取得を目指せます。お学科を越えて自分の興味のある分野について学ぶこともでき、自分の夢に合っていると思ったからです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学が第一志望だったので一つでも多く受験の機会を作りたいと思ったからです。また、高校3年間で一番力を入れて学んできたピアノの実技をアピールできることと部活動を通して得たものや色々な経験を通して感じてきたことを自分らしく伝えられる入試方法だと思ったからです。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

所属していた管弦楽部での活動や音楽コース生として多くの演奏会に出演してきたことをアピールしました。10分間のプレゼンテーションでは、今の自分にできる音楽の魅力を伝える方法を考え、管弦楽部と一緒に活動してきた、同級生に向けて癒しになるようなコンサートを企画して観ていただきました。ピアノ演奏だけでなく、絵やパワーポイント、場の雰囲気作りなどの演出を考えました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

将来の夢や志望理由、音楽に対する考え等は、自分を良く見せようという思いで書くのではなく、ありのままの自分の素直な気持ちを文章にすることを意識しました。また、読んで分かりやすく伝わりやすい表現にしようと心がけました。自分が行ってきた活動の資料として、参加したプログラム、雑誌や新聞の記事を集めて提出しました。

〔面接〕

面接ノートを作り予想される質問とその答えを箇条書きで書きました。あえて文章で書かないことでどんな聞かれ方をしても一番伝えたいことはしっかり伝えることができました。学校の先生に何度も面接練習をしていたので、受け答えの仕方を改善しました。また、日頃から社会のニュースなどにも目を向け、自分の考えや意見を言えるように意識して過ごしていました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は、AO入試での受験を決めたのが遅く、書類作成もプレゼンテーションの内容を決めるのも全てがギリギリで、とても焦りや不安がありました。ですが同志社女子大学で学びたいという気持ちを忘れずに、自分の思いを伝えることができましたら大丈夫だと思います。大変なことも多いと思いますが、頑張ってください。応援しています！